



福山市北部市民大学だより

＝番外編＝ 2018 年（平成 30 年）10 月 11 日

スローガン 「学ぶ喜び つながる喜び 伝える感謝」

全体教養講座

北部市民センターで

盛大に開催



元福山市公立中学校長の友道健氏さんの講演による全体教養講座が 10 月 6 日（土）に開かれました。初めての当市民大学と生涯学習センターの合同実施でしたが、互いに協力しながら講座を開くことができました。

台風が近づくという心配された天候でしたが 330 人の皆さんに集まっていたいただいて盛大に実施できたことに心から感謝申し上げます。講演を講師自身の厳しい治療経験でしたがユーモアをもって話していただき、1 時間半が感動と涙と笑いであつという間に過ぎました。

…講演会が始まりました…

最初に福山市人推連北部ブロックの山名洋通会長から「多様な見方を知り、自からに生かしてほしい」言う趣旨の挨拶をいただき、当市民大学の吉川学長が挨拶と講師紹介をして講演会がスタートしました。



講師は、同志社大学で学ばれ落語研究会に所属しておられました。後輩には俳優の生瀬勝久さん、有名企業の創業にかかわった経営者など多彩な人物が名を連ねていました。本人も多彩な特技や趣味を持っておられ落語は勿論、自転車も大好きでトルコ横断など海外でもツーリングを経験しておられます。事故にも遭ってドクターヘリで搬送された経験も語っておられました。きっと不死身ですね。

…本題に移ります…

① 挨拶と整理整頓を基本に中学生を指導
…挨拶は人を大切にすること
…整理整頓は物を大切にすること
人と物を大切にすることによって人物を育てるのが基本。サッカーだとシュートやパスが大切だと思われがちですがそれより大切なことがあるということです。

② 学校生活の中で「うがい 釣銭入れ 掃除」の 3 点は外国からきた英語指導助手にとって理解できず驚かれることです。日本人にとっては当たり前のことで人を大切にすることを形に表したものです。指導ではこのような日本人にとって基本的なことを大切にしてきました。

授業や掃除が始まる前には学校中が一瞬静寂になります。チャイムが鳴る 23 秒は瞑想の時間です。授業は一緒懸命、掃除は無言で行い、ほこり一つありません。掃除の最後は反省です。次は何をしたらいいかをはっきりさせて次に繋がります。

③ 生徒の努力は全力で褒めます。「ブラボー」と叫ぶぐらい大声で喜びを伝えました。

④ 応えてくれる生徒たちです。部員が 9 人しかいなくて例年 2 回戦敗退のサッカー部でしたが校長先生を励まそうと思って練習を積みました。ついに福山市で優勝を勝ち取り、今年度は 2 年連続優勝を果たし、県体では 4 位入賞に輝きました。陸上の短距離走や柔道でも素晴らしい成績を上げました。打てば響く素直な生徒たちが育っています。

「方円の器」(書肆侃侃房)に友道さんの考え方や教育実践が掲載されています。